

Interview2

### 「自分のために」自治会HPを作成

ウェブ制作関係会社に勤務する藤原隆司さん・悠さんご夫妻は、今年4月、コロナ禍でのリモートワークを機に東京都から移住。上延沢自治会に加入し、自治会ホームページを作成した。



**開成町で自治会に入ってみた**  
 のんびりした田舎暮らしがしたいと思っていました。不動産屋に紹介してもらった開成町の景色に惹かれて移住しました。

前に住んでいた地域には自治会がなかったのですが、「暮らす+まちづくり」を試してみたかったし、開成町をもっと知りたかったので自治会に加入しました。

**「困った」をかたちに**  
 自治会ホームページを作成することになったのですが、これは「自分のため」でもありません。

ある日、自治会のイベントの日程を確認しようと、インターネットで調べましたが載っておらず、自治会のホームページすらなく不便を感じました。じゃあ、自分で作ろうと。自治会長も「ぜひ作ってほしい」と賛成してくださいました。みなさんも喜んでくれて野菜をくれたり、庭を手入れしてくれたりしました。

**地域の「人財」を紹介したい**  
 今後は、上延沢の「人」にスポットを当ててみたいです。近所にはカメラが得意とか、料理が得意とかさまざまな得意分野を持った方がいます。自治会・近所だからこそ知っている人財を、より多くの方々に紹介したいです。



コミュニケーションを大切にしている藤原さん。  
「自治会館には誰かしらいるので、よく遊びに行きます。」

藤原さんが作成した  
上延沢自治会HP「上延だより」



### 自分たちで地域を良くしたい

自治会は社会の縮図で、自分の声を届ける一歩目。他人にやらされるより、「何かあったら自分たちで良くする」と考えるほうが楽しいと思っています。これからは、自分ができることを楽しんでやっていきたいです。

## 特集

# 見つけたっ！ チイカツビト

企画政策課 ☎84-0315

地域で活動する人、「チイカツビト」。  
趣味や仕事、自分の好きなことや得意なことをいかして地域で活動するのって、楽しいことかもしれません。  
今回は、「日常生活×地域活動」を楽しむ町民の皆さんを特集します。

Interview1

### 消防団員になってスキルアップ

開成町消防団に所属する綾部湧友さん。  
消防士になる夢を叶えるため、「大学生生活×消防団」を両立。  
来年4月から消防士として活動する予定。



### 夢は消防士

救急救命士の資格を取得し、消防士になることをめざしています。消防団に入団した理由は、学生のうちから消防のスキルを身につけられると思ったからです。知り合いが消防団に在籍していたので、紹介してもらいました。

### 和気あいあいと活動

入団前、「消防団」は厳しいイメージでしたが、実際は気さくで、和気あいあいとした雰囲気でした。大学の授業との両立が難しい時は、消防団の先輩が「無理しないでね」と気遣ってくれ、就職活動の相談にのってくれました。

### 消防団は、自主的に手を挙げないと入れない組織なので、やりがいを感じています。実際の火災現場のほか、令和元年の台風19号での警戒など、現場で活動することもありました。

**社会人になるための勉強の場**  
 消防団員として、消防本部の方や地域の方などと、コミュニケーションをとる必要があるのです。言葉遣いや社会人としてのマナーも勉強できます。現場で経験ができ、スキルが身につくので、消防士をめざす学生には入団をおすすめします。

### 社会人になるための勉強の場

今後は、現役の消防士として成長した姿を見せたいですし、これからは消防団の方たちと関わっていききたいです。

消火栓点検中の綾部さん。  
広報かいせい令和2年12月号  
の特集記事にも登場してくれました！



これからも  
がんばってね！

